

古河工場隣地に新工場を建設し、16,000Ton 油圧プレス導入いたします

平成 26 年 1 月 30 日

 株式会社富田製作所

株式会社富田製作所（代表取締役；富田修 / 茨城県古河市）では、古河工場（茨城県古河市）隣地に新工場建設並びに国内最大級 16,000 トン油圧プレスを導入することとなりましたのでお知らせいたします。

I 導入の背景

株式会社富田製作所は、昭和 26 年より操業を始め、60 年以上に渡り社会に貢献し続けております。現在は茨城県古河市及び下妻市に工場を構え、1983 年、10,000Ton 油圧プレスを古河工場に、1994 年には 5,000Ton 油圧プレスをつくば工場（下妻市）にそれぞれ主力設備として導入し、お客さまの多様なニーズに見合った厚板鋼板の曲げ加工や鋼管の製作を業務に従事しております。長年に渡り、許多的ごひいきを賜りながら徐々に規模を拡げてまいりました。近年では「東京スカイツリー用鼎（かなえ）柱」や、昨秋開業した「東京駅八重洲口グランルーフ用異形鋼管」の製作等著名建造物にも携わり、数多くの関係各社さまとの関わり合いも強くしながら事業を進めております。

このたびは更なる事業領域拡大を目論んだ生産設備増強対策及び、既存設備の老朽化対策も踏まえた設備投資と致しまして、古河工場隣地への新工場の建設並びに 16,000Ton 油圧プレスを導入する運びとなりました。

新たな鉄の需要探索型の設備投資と致しまして、本設備は 2020 年に予定される東京オリンピックや、計画される国土強靱化基本構想へ向けた今後の建築や産業基盤整備等、幅広く柔軟性に富んだ用途での使用が見込まれております。更には従来設備との相互連携も併せまして、基幹産業として「日本のモノづくり」に寄与すべく役割を担ってまいります。

II 主な特長

- 最大 17,000Ton の加圧能力を誇る大型プレスと致しました。
 - 柱内幅は 13M200mm の間口を誇り、最大板厚 100mm×長さ 13M までの製管加工が可能となります（※1）。
 - 板厚 60mm×長さ 13M まで端曲げ切断代は不要となり鋼板材料の歩留まり向上に貢献いたします。
 - スライドフレーム方式を採用し、T 型ホルダーの交換や多様な金型の取付けが可能な仕様としました。
- それにより曲げ加工以外の絞り加工や UO 成形、モールド加工等、柔軟な対応が可能となります。
- 圧力保持機能や離形上昇機能を備え、3 次元曲げ等についても幅広く対応可能となります。

※1 SM490 材の場合

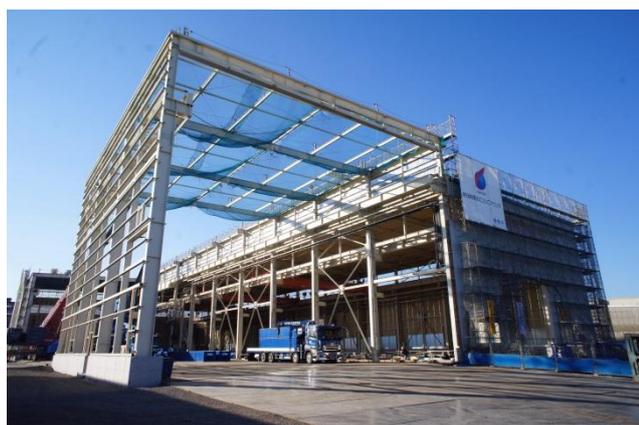
Ⅲ 新導入設備概要

新工場敷地面積	10,048 m ² (茨城県古河市丘里 11 番地)
新工場建屋面積	4,065 m ² (20M * 100M * 2 棟) 軒高 A 棟 12.5M、軒高 B 棟 17M
16,000Ton 油圧プレス (株式会社 小島鐵工所製)	最大圧力 17,000Ton、デーライト 3.5M、ストローク 2M フレーム内寸法 13.2M * 2.1M (下部ベッド寸法)

上記設備の他、矯正用プレス機 (1,000Ton)、内外面サブマージ溶接機、NC ガストレーサー、NC 端面加工機を導入いたします。



(16,000Ton 油圧プレス)



(新工場建設地)